第7回循環器病総合支援委員会	

資料 1-2

脳卒中・心臓病等総合支援センターの取組報告(京都府)

宮本 享1 ● 的場聖明2

京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター¹ 京都府立医科大学附属病院 循環器内科²

第2期循環器病対策推進基本計画 【別紙1】 2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少 全体目標 個別施策 循環器病:脳卒中・心臓病その他の循環器病 【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備 循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築 1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発 2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実 循環器病の発症予防及び重症化予防 1) 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進 ○ 子どもの頃からの国民への循環器病に関する正し ② 救急搬送体制の整備 い知識(循環器病の予防、発症早期の適切な対応、 ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築 重症化予防、後遺症等)の普及啓発の推進 ④ リハビリテーション等の取組 循環器病に対する国民の認知度等の実態把握 ⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援 3. 循環器病の研究推進 ⑥ 循環器病の緩和ケア 循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の ⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援 開発、リハビリテーション等に関する方法に資する ○ 沙索と仕事の両立支援, 就受支援 研究開発の推進 ⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策 ○ 科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対 ⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援 策を効果的に進めるための研究の推進 循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項 (1) 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化 (4) 都道府県による計画の策定 (2)他の疾患等に係る対策との連携 (5) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化 (3) 感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策 (6) 基本計画の評価・見直し <循環器病の特徴と対答> **啓発・予防** (一次予防、二次予防、三次予防) 回復期~慢性期 生活期・維持期 急性期 再発・合併症・重症化予防

脳卒中と心臓病双方で共通・協調整備が可能

脳卒中と心臓病で医療システム・臨床像が異なり個別の整備が必要

京都府 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業

京都府循環器病対策推進協議会

京都大学医学部附属病院

脳卒中相談·支援

循環器病 総合支援 プロジェクト 委員会

京都府立医科大学附属病院

心臟病相談·支援

疾患別(脳卒中・心臓病) 2センタービジネスモデル

共有部分は協調しながら、疾患特有部分は個別化

行政・医師会・脳卒中・心臓病等総合支援センター共催による公開講座







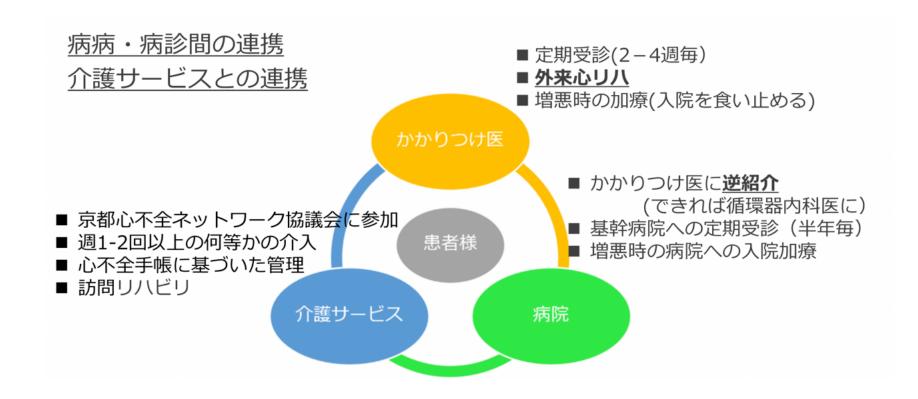
共催:京都府•京都府医師会•京都府立医大病院•京大病院

脳卒中・心臓病等総合支援センターをハブとした

地域連携•多職種連携

京都心不全ネットワーク

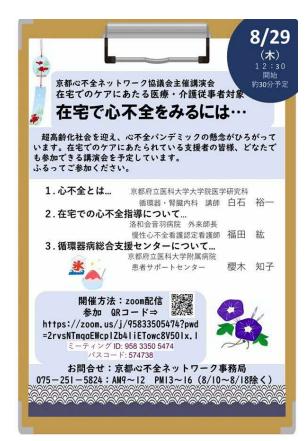
- 脳卒中・心臓病等総合支援センター(京都府立医大病院)をハブとした 25病院16クリニックの連携
- 介護サービスも含めた オール京都の心不全指導チーム



心不全在宅支援者対象の講演会









京都心不全ネットワーク

• 多施設多職種共通の心不全手帳による 疾患管理指導

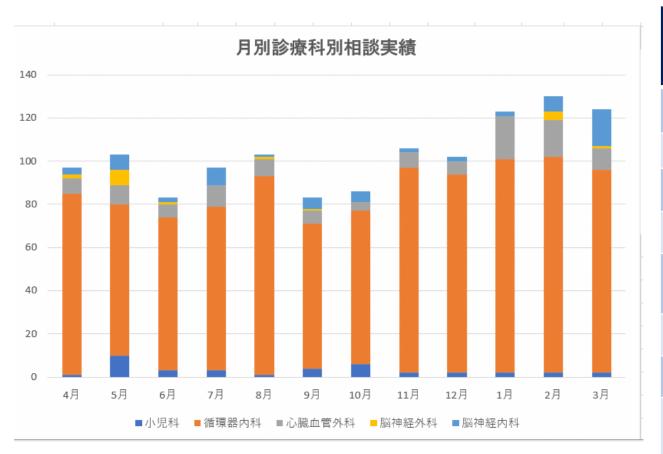
京都心不全ネットワーク協議会初期メンバーの医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士が協働して心不全手帳作成



循環器病総合支援センター・脳卒中相談窓口相談実績報告(京都府立医大病院)

2024年度 相談実績 : 1237件

(対面 1111件・電話 124件・その他 1件)



相談内容 ※多い項目上位10項目	件数
食事・服薬・入浴・運動・外出	1056
不安•精神的苦痛	392
治療	318
症状・副作用・後遺症	157
医療者との関係・コミュニケー ション	147
生きがい・価値観	116
社会生活(仕事・就労・学業)	110
介護•看護•養育	110

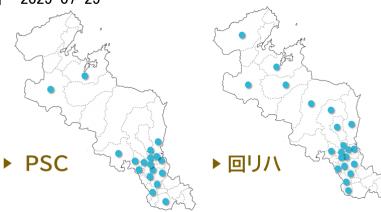
京都府立医大 的場聖明先生作成 (演者改変)

脳卒中急性期 • 回復期施設間連携

京都府PSC会議(診療責任者会議)

京都府立医科大学附属病院 京都第二赤十字病院 京都大学医学部附属病院 武田病院 京都市立病院 医療法人清仁会シミズ病院 社会福祉法人 京都社会事業財団 京都相 京都第一赤十字病院 医仁会武田総合病院 蘇生会総合病院 独立行政法人国立病院機構京都医療センタ 医療法人同仁会 (社団) 京都九条病院 医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院 宇治徳洲会病院 医療法人清仁会亀岡シミズ病院 京都山城総合医療センター 京都田辺中央病院 京都岡本記念病院 社会福祉法人 恩賜財団 京都済生会病院 市立福知山市民病院 国立病院機構舞鶴医療センター

•	第1回	2022-10-07
•	第2回	2022-12-02
•	第3回	2023-03-03
•	第4回	2023-06-09
•	第5回	2023-09-15
•	第6回	2024-01-19
•	第7回	2024-04-19
•	第8回	2024-06-28
•	第9回	2024-10-04
•	第10回	2025-01-24
•	第11回	2025-04-19
•	第12回	2025-07-25
		~ .



京都府脳卒中連携回復期リハビリテーション病院診療責任者会議

PSC·回復期併設施設	回復期リハビリテーション病院
医仁会武田総合病院	
	宇多野病院
	京都大原記念病院
山城総合医療センター	
	京都近衛リハビリテーション病院
京都岡本記念病院	
	鞍馬口医療センター
	京都中部総合医療センター
	京都民医連中央病院
	京都博愛会病院
	宇治リハビリテーション病院
	京都ルネス病院
	京都田辺記念病院
	京都久野病院
	十条武田リハビリテーション病院
	六地蔵総合病院
	京都リハビリテーション病院
	丹後中央病院
京都きづ川病院	
	洛和会音羽リハビリテーション病院
市立福知山市民病院	
	がくさい病院
	京都協立病院
	壬生大路病院
蘇生会総合病院	
	学研都市病院
	脳神経リハビリ北大路病院
	京都武田病院
	京都からすま病院
	洛西シミズ病院
	京都民医連あすかい病院

第1回 2024-09-09
第2回 2024-11-25
第3回 2025-03-03
第4回 2025-07-07

脳卒中・心臓病等総合支援センター(京大病院)をハブとした 脳卒中急性期・回復期リハビリテーション病院 49病院すべての連携 大学医局や診療科(内科・脳外科) 急性期/回復期にかかわらない 京都府<mark>脳卒中one team</mark>の確立

脳卒中療養支援プラットフォームの中心を担うのが、

脳卒中相談窓口連携会議





- 京都府内の一次脳卒中センター・回復期リハ病院の すべて(49病院他)から指名された脳卒中相談担当者会議 (主に医療ソーシャルワーカー(MSW)、退院支援看護師、事務等)
- 2023年度から3-4カ月に一度の頻度で、定例会(Zoom)を実施 (計7回実施済)

日々の患者支援の中で抱える課題を明らかに

様々なニーズ抽出・必要支援情報を資源化

回リハ入院時に作った装具が 合わなくなってきました。 へ 作り直したいです。







脳卒中生活期 患者

回リハを退院されてから、どこの病院にもかかっていませんね。 どの病院に頼めばいいかしら?





かかりつけ医

当院には、装具外来がありません。 どの病院が対応してくれるのか 情報がありません。





回復期リハビリテーション病院 脳卒中相談窓口

脳卒中連携資源 創出プロジェクト

脳卒中患者の補装具に係る資源リスト





浸装具外来設置機関 MAP(回復期)

- 設置している (かかりつけ問わず)
- 設置している(かかりつけのみ)



脳卒中連携資源 創出プロジェクト

脳卒中患者の補装具に係る資源リスト

令和7年8月発行(第一版)

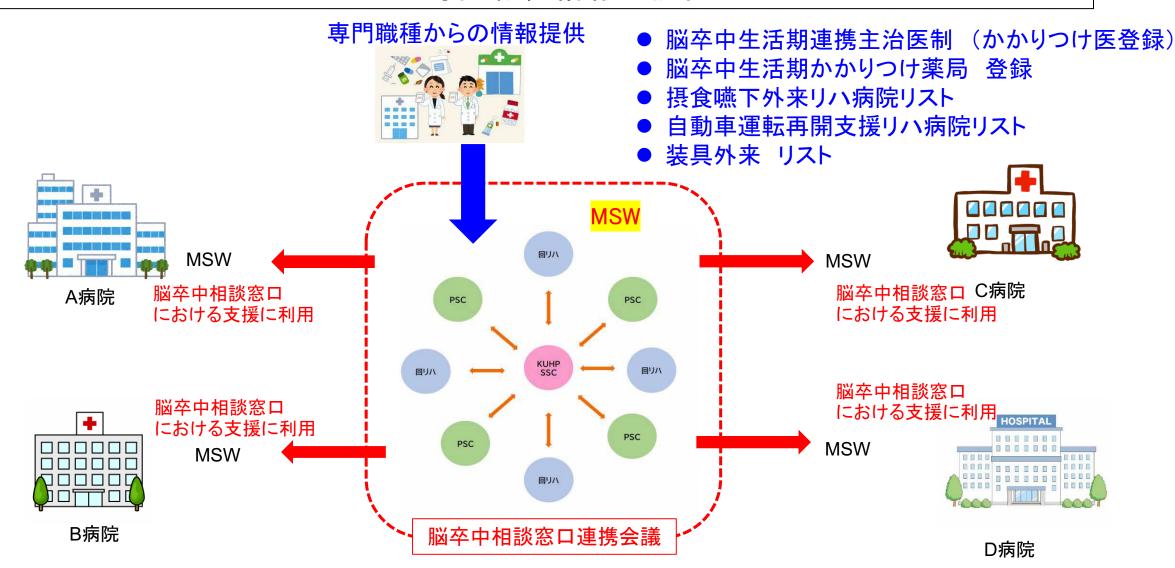
京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター 編

	医療機関名	京都大原記	京都大原記念病院							
		住所	京都市左京	京都市左京区大原戸寺町334-1						
		装具作成可	J否	可	作成可能な	装具	長下肢	短下肢		
	外来診療有無		無							
	基本情報	外来診療に	おける対応	可能事項						
		装具外来影	设置有無		無					
	装具に関する連絡先									
		備考								

医療機関名	京都久野病院									
	住所	京都市東山	Ⅰ区本町22丁	目500						
	装具作成可]否	可	作成可能な	装具	長下肢	短下肢			
	外来診療有	外来診療有無 有								
基本情報	外来診療における対応可能事項			診察,修理,再作製,相談						
	装具外来設置有無			無						
	装具に関する連絡先			長下肢、短下肢装具、SHBは基本入院中に処方していま						
	備考			- す。退院後は相談の元修理、再作成など受け付けています。 す。						

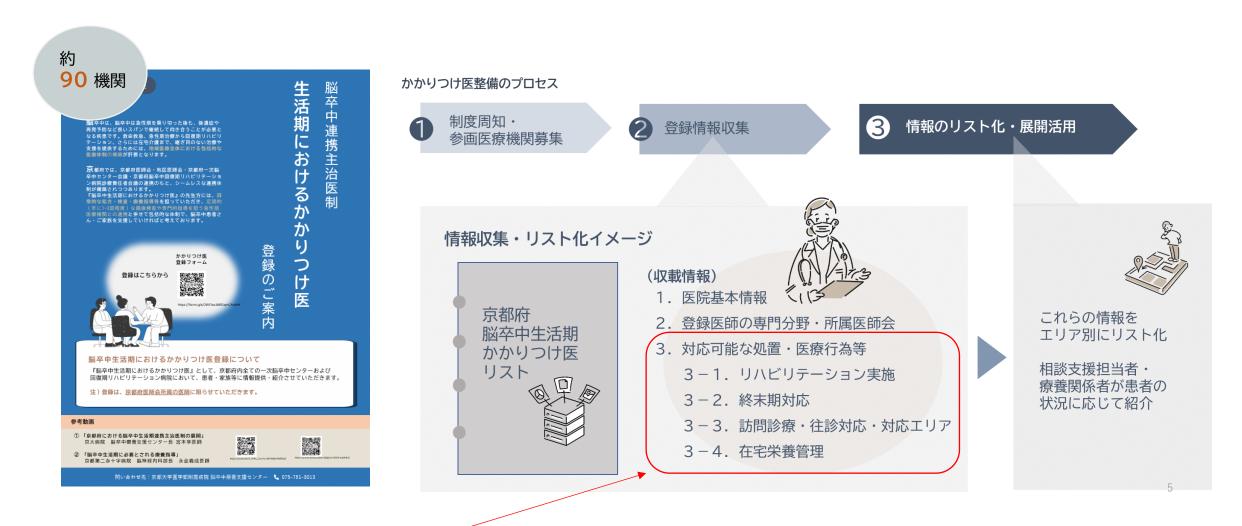
医療機関名	洛西シミズ病院								
	住所	京都市西京	区大枝沓掛	町13-1	0 7				
	装具作成可]否	可	作成可能な	装具	長下肢	短下肢		
	外来診療有	無	有						
基本情報	外来診療における対応可能事項			診察,装具	具処方, 修 ^束	里,再作製	,相談		
	装具外来設置有無			有(常設)	設置してい 火曜日∷13		かりつけ患者	香のみ)	
	装具に関する連絡先								
	備考								

SCPA-Japan府県支部と<mark>脳卒中相談窓口連携会議</mark>をプラットフォームにした 専門職種情報の提供



専門職種のアイデア・情報 を どの病院の脳卒中相談窓口でも情報提供

脳卒中生活期連携主治医制度とかかりつけ医登録(京都府医師会との連携)

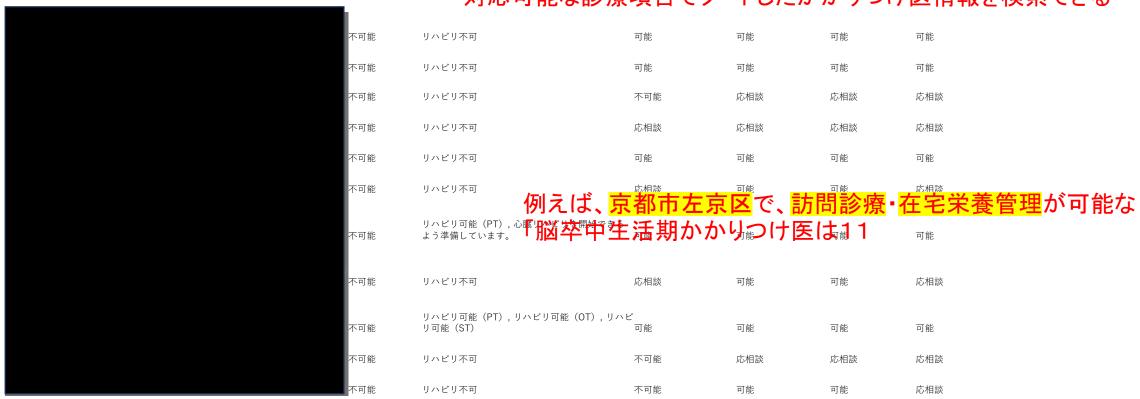


● 登録された医院情報がリストになり、検索ツールとともに京都府内49病院の脳卒中相談窓口で共有

脳卒中連携主治医制医療機関 検索ツール version.1

医療機関名(カナ検索可) 住所 入院対応 リハビリテーション 終末期受入	訪問診療	往診	在宅栄養管理	カリア
京都市左京区	不可以外		不可以外	297

対応可能な診療項目でソートしたかかりつけ医情報を検索できる

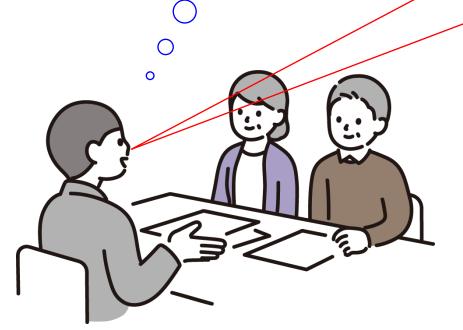


脳卒中連携主治医制 かかりつけ医リスト: 2025年2月から脳卒中相談窓口連携会議で共有

必要とされる療養に応じた 脳卒中生活期かかりつけ医を紹介

入院前から<mark>かかりつけ医</mark>の先生が いらっしゃいますか? ご自宅の近くでは、このリストにある医療機関があなたに必要な内容の診療指導をしてくれる脳卒中の生活期におけるかかりつけ医になってくれます。

どの医療機関をご紹介しましょうか?



必要な内容の診療指導

- 訪問診療
- 往診
- 在宅栄養管理
- 入院対応
- リハビリテーション
- 終末期対応

脳卒中相談窓口 コーディネーター(MSW)

同じかかりつけ医の情報 を すべての病院の脳卒中相談窓口でも情報提供

脳卒中生活期連携主治医制

医師による紹介状のみによる連携ではなく

脳卒中相談窓口MSWが情報連携の要となる

回復期リハビリテーション病院

連携主治医制度を説明PSCの予約窓口・F/U外来担当医を紹介かかりつけ医を確認・紹介

脳卒中相談担当 コーディネーター同士が連携



PSC(一次脳卒中センター)

- 専門的フォローアップ(年1回程度)
- 画像検査
- 服薬内容確認 等



情報共有

かかりつけ医

- 日常のフォローアップ(月1回程度)
- 療養・生活指導
- 処方
- 血液検査・心電図 等

______ 情報共有

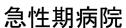
脳卒中生活期における連携主治医制

- ~各病院・各領域で推進されている連携主治医制と 何が異なるのか?~
 - 1. 脳卒中生活期 かかりつけ医登録
 - 2. 京都府医師会と府内すべての脳卒中医療機関の連携 (単一の医療機関とと関係かかりつけ医だけの連携ではない!)
 - 3. 脳卒中相談窓口MSWによる情報連携 (医師の紹介状だけはなく、多職種による情報の共有!)

脳卒中生活期かかりつけ医は 患者に最も近い脳卒中相談窓口!

(その整備・連携のハブとなるのが、脳卒中・心臓病等総合支援センター)

京都府脳卒中連携看護師会議with (公社)京都府看護協会





A病院 脳卒中療養相談士 (MSW·看護師)

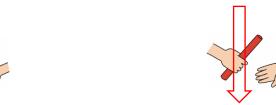


B病院 脳卒中療養相談士 (MSW·看護師)



C病院 脳卒中療養相談士 (MSW·看護師)







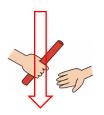
Y病院 脳卒中療養相談士 (MSW·看護師)



Z病院

脳卒中療養相談士

回復期病院



X病院 脳卒中療養相談士 (MSW·看護師)

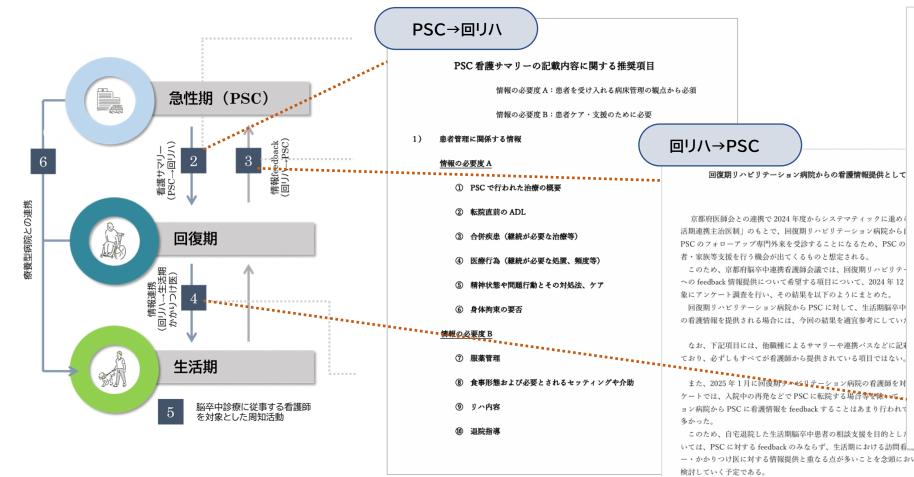
連携による

意思決定支援のバトンの 発情

維持期 生活期施設

まずは、看護サマリーに関する標準化

京都府脳卒中連携看護師会議 (看護情報連携の標準化プロジェクト)



回復期リハビリテーション病院からの看護情報提供として

京都府医師会との連携で2024年度からシステマティックに進め 活期連携主治医制」のもとで、回復期リハビリテーション病院から PSC のフォローアップ専門外来を受診することになるため、PSC の 者・家族等支援を行う機会が出てくるものと想定される。

このため、京都府脳卒中連携看護師会議では、回復期リハビリテ・ への feedback 情報提供について希望する項目について、2024 年 12 象にアンケート調査を行い、その結果を以下のようにまとめた。

このため、自宅退院した生活期脳卒中患者の相談支援を目的とし いては、PSC に対する feedback のみならず、生活期における訪問看

1) 退院時の患者情報

② 機能的自立度 (FIM)

⑤ 退院後継続が必要な医療的ケア

一・かかりつけ医に対する情報提供と重なる点が多いことを念頭において、今後引き続き 検討していく予定である。

> 治療・リハビリ内容や服薬等、他職種のサマリーと重複する場合は、 参照する書類 (例:連携バス参照、リハサマリーなど) を参照する

① 回リハで行われた治療・リハビリテーションの概要

③ 退院後の生活(自宅退院・療養型病院・施設 など) ④ 社会支援の情報(障碍者認定・介護認定・訪問看護など)

回復期リハビリテーション病院から在宅生活期への情報提供項目

京都府脳卒中連携看護師会議 (2025年5月27日)

回復期リハビリテーション病院から自宅へ退院する患者について、在宅生活期の支援を 行う訪問看護師やケアマネジャー等に対して、看護サマリーや退院時カンファレンス等で 情報提供することが望ましい項目を以下にまとめた。

なお、必ずしもこれらの項目すべてを看護サマリーに記載する必要はない。治療・リハビ リテーションの内容や服薬等、看護師以外の職種によるサマリーや地域連携パス等と重複 する内容もあるため、適宜それらも用いて在宅生活期へ情報共有することが望ましい。

1) 退院時の患者情報

- 1. 入院に至った傷病名と入院期間
- 2. 入院中に行われた治療・リハビリテーションの概要
- 3. 退院時 ADL (移動・排泄・食事・入浴・服薬・嚥下機能・口腔ケア・ 睡眠・認知等) および機能的自立度 (FIM)
- 4. 退院後のリハビリテーションの必要性及び具体的内容
- 5. 退院後も継続が必要な医療的処置・看護ケア
- 6. 治療継続が必要な合併疾患
- 7. 服薬に関する問題点
- 8. 摂食・栄養に関する問題点

2) 退院後の医療・支援に関する情報

- 10. 社会支援の情報 (障碍者認定・介護認定・訪問看護など)
- 11. かかりつけ医情報:受診方法と頻度
- 12. 急性期病院 (PSC) F/U 専門外来担当医情報 (状態が悪化した場合の入院の可能性も含む)
- 13. かかりつけ薬局情報
- 14. 地域包括支援センター / ケアマネジャー 事業所・担当者名

回リハ→生活期

1. 京都府脳卒中連携看護師セミナー 開催報告

- 一般社団法人日本脳卒中医療ケア従事者連合 京都府支部
- 京都府脳卒中連携 回復期リハビリテーション病院診療責任者会議

会場 オンサイト開催形式 ハイブリッド開催なし

京都大学芝蘭会館 山内ホール

https://www.med.kyoto-u.ac.jp/facilities/shiran/access/

参加対象 下記以外の医療関係者のご参加も大歓迎です

- 京都府脳卒中連携看護師会議 参画機関 の担当者・看護師・職員
- 京都府脳卒中相談窓口連携会議 等

■ プログラム 総合司会 京大病院 脳卒中療養支援センター 榎戸 真弓

(敬称略)

14:00 開会あいさつ

公益社団法人 京都府看護協会 会長 豊田久美子

譜湯

14:05 「京都府における脳卒中地域・多職種連携について」

京大病院 脳卒中療養支援センター センター長 宮本 享

F Access

14:20 「PSC看護サマリーで共有する情報に関する推奨」

京都九条病院 看護部 中村祐司

14:40 「回復期リハ病院からPSCへのfeedback情報提供について」

京都近衛リハビリテーション病院 看護部 田中 幸

15:00 - 15:20 (休憩・情報交換)

シンポジウム

15:20 「情報提供項目の標準化を受けて」

■ 司会 宮本 享 (京大病院 脳卒中療養支援センター)

シンポジスト

- 室本雅子(京大病院 看護部)
- 计用结械(克赖第二赤十字病院 看護部)
- 江隈あすか (康生会 武田病院 看護部)
- 菊山由加利(京都リハビリテーション病院 看護部)

15:55 閉会あいさつ

京大病院 看護部長 井川順子

90.80





連携看護師会議メンバーが、 オンサイトで**顔を合わせる 初めての機会**に。

参加者約70名

看護情報提供の標準化プロジェクトおよび推奨項目に 関する報告



急性期・回復期の立場から、情報伝達に関する自院の取り組み、

推奨項目の活用等について、報告・意見交換



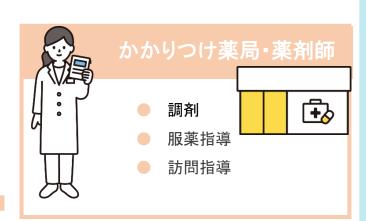
脳卒中生活期における連携主治医制・かかりつけ薬局制



- 自宅退院する <mark>服薬指導が必要な</mark>患者・家族等に
- 連携主治医制度を説明
- かかりつけ医を確認・紹介
- かかりつけ薬局・薬剤師を確認・紹介



- 退院時情報
- かかりつけ医情報
- PSCのF/U外来医情報

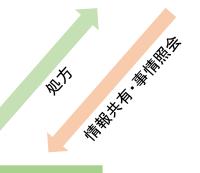


情報共有・事情照会



かかりつけ医

- 日常のフォローアップ(月1回程度)
- 療養・生活指導
- 処方
- 血液検査・心電図 等





京都府内 薬局等対象

脳本中は、急性期を乗り越えた後も、後遺虚への対応や再発予 防など、長期にわたる機能的なケアが求められる疾患です。その ため、地域医療全体で包括的な医療体制を構築することが重要と

ンター会職、京都府副本中回復期リハビリテーション病院診療費 任者会職が連絡し、シームレスな医療提供を目指した連絡体制

二の連絡体制の一環として、『 脳卒中生活所におけるかかりつ け意思制度』が京都市施利申金や地域販利申金と連進して開始されます。かかりつけ振用は、急性所・回旋測医療機能をかかりつけ低と連絡・情報共存を行いながら、患者さんへの最利情報提供 や風景支援を行います。

地域におけるシームレスで包括的な医療体制を共に支える狙い手 として、ぜい本領庁にご参照ください

脳卒中生活期におけるかかりつけ薬局登録について

脳卒中生活期におけるかかりつけ薬局制度にご登録いただいた情報は、京都府内全ての一次脳卒中 センター(PSC)および回復期リハビリテーション病院等において、患者さん・ご家族等への情報

また、脳卒中生活期におけるかかりつけ薬局ネットワークの一員として、各種必要な情報等お届け

ご登録いただく情報(例)

問い合わせ先: 京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター 📞 075-751-3013

○ 対応可能な事項 : 在宅対応・夜間休日対応・服薬フォローアップ 等

登録はこちらから

かかりつけ薬局 キモフォーム

○ 薬局基本情報 : 薬局名・住所・連絡先 等

- ✓薬局情報
- ✓対応可能な連絡手段、時間帯

脳卒中

生活期におけるかか

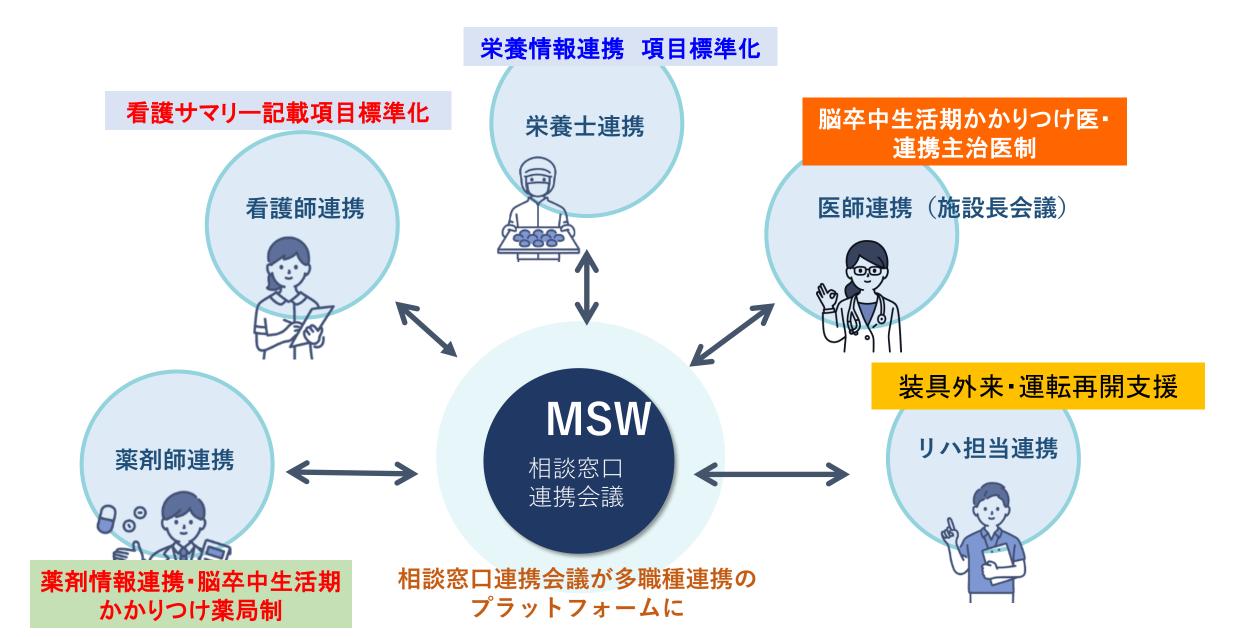
登録のご案内

- ✓在宅対応可能
- ✓夜間休日対応可能
- ✓服薬フォローアップの方法



情報共有

- 退院時情報
- PSCのF/U外来医情報
- かかりつけ薬局情報



脳卒中生活期を見守る 情報ネットワーク











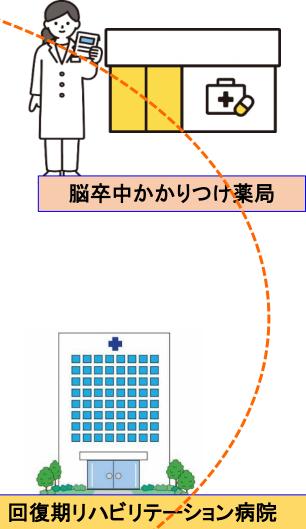






- 連携主治医制に基づく情報集約 (F/U専門外来・かかりつけ医・かかりつけ薬局)
- 脳卒中相談窓口連携会議で 共有されている支援情報の提供

医療センター





京大病院 脳卒中療養支援センター がハブとなり、京都府内の・医療機関等を対象に主催した各職種連携会議・セミナー

● 2024年8月~2025年7月(1年間)における実績 (32回・参加人数合計 2010名)

① 職種別・多職種連携会議 : 京都府対象

MSW PSC医師 回復期医師 薬剤師 看護師 栄養士 多職種

会議名称	相談窓口 連携会議	PSC 責任者会議	回復期 責任者会議	連携 薬剤師会議	連携 看護師会議	連携 栄養士会議	SCPA- Kyoto	合計
開催回数	2	3	4	2	4	3	4	22
参加人数計(人)	100	60	80	70	200	105	80	695

② ナレッジ共有・啓発(両立支援セミナー): 京都府対象

■ 2025.1: 脳卒中後の運転再開支援

■ 2025.7: ADL自立患者の高次脳機能障害と復職支援

③ 職種連携・地域連携・公開講座: 京都府対象 6 全国対象 2

- SCPA 京都支部事業報告会(2025.2)
- 第二回京都市北部エリア地域連携の会(2025.4)
- 京都府連携看護師会議セミナー(2025.5)
- SCPA Japan事業報告会(2024.9)
- 両立支援調査2023 中間報告シンポジウム(2025.3)
- 脳卒中相談窓口連携会議 全国大会2025(2025.6)
- 市民公開講座(京都府・医師会・府立医大・京大共催:2025.2)
- もやもや病ピアサポート in Kyoto2025 (2025.3)

2回 - 参加数 235名

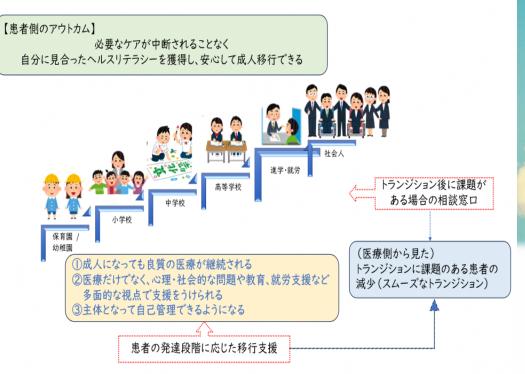
8回 参加数 1080名

<mark>ハブ</mark>となるためには、専従職員が必須!

22回 参加数 695名

⑨小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策(心臓病領域)

- ・患者会と共催し「思春期の心臓病教室」開催
- ・移行期医療支援センター「**移行期支援看護外来」開設** 今後、取り組みの一環として「**健康カード**」考案中





移行期支援看護外来



京都府立医大 的場聖明先生作成 (演者改変)

⑨小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策(脳卒中領域)

もやもや病ピアサポート in Kyoto 2024





7名の申し込みがあり、大変好評

選択制・少人数ピアサポート

同じ悩みを抱えるメンバーでの

- 1) ティーン・ピア
- 2) ペアレント・ピア



医療と教育現場との連携

脳卒中・心臓病等総合支援センター事業であればこそ、行政も動く



京都府庁

教育行政との連携



教育現場との連携



京都市役所



患者家族を介さない 教育現場と医療側の情報共有 ・ 学校側の指導方針の確立

もやもや患児が在籍する学校教員とのweb会議